

資料4

ネットワーク構成メンバー活動報告

鳥取県商工会議所連合会

<これまでの活動内容>

- 事業者や市民ら商工会議所を訪れる方に広くSDGsを知ってもらうことを目的に、商工会議所1階に常設パネル展示を開設。
⇒展示スペースでは取り組み事例を紹介し、自社の事業がSDGsに繋がっていることへの気づきを与える。
- 会議所内でもできることから始めようと、役員・職員にSDGsバッジを配布・着用、名刺や封筒にSDGsを印字。
- 業種ごとにわかれた部会内でもSDGsに関連した勉強会や活動を行う部会が出てきており、今後も様々な角度からSDGsに関連した取り組みを推進していく。工業部会では、鳥取環境大学と連携し、実際に企業のSDGsを実践している。
- R3年度は新たに会館にSDGs懸垂幕を2本掲示し、啓発に努めている。
- ホームページにSDGsバナーを作成し、随時最新情報を発信している。
- 毎月発行の鳥取商工会議所報裏表紙にSDGsロゴを掲載
- 政策委員会で若者ネットワークが作成したSDGsカードゲームを実践。（経営者のみならず社員も多数参加）



<SDGs達成に向けた今後の活動>

- 会議所（青年部含む）会員のSDGsの認知向上及び実践につながる勉強会等の開催
- 商店街と協働して街なかSDGsを推進する。

株式会社山陰合同銀行

<これまでの活動内容> ※前回以降のトピックスを追記修正

- 「サステナビリティ宣言」表明（2019年5月）
⇒「サステナビリティ宣言を踏まえた投融資方針」公表（2021年6月）
⇒「サステナブルファイナンス長期目標」設定（2021年10月）
2021~2030年度にサステナブルファイナンス1.5兆円に取り組みます。
- 「The Valuable 500」への加盟（2021年4月）
・障がい者活躍の推進に取り組む国際イニシアティブへ加盟しています。
- SDGs関連研修会等の主催・企画・運営支援
・行員（とっとりSDGs伝道師）による研修会やワークショップを自治体・企業等へ実施しています。
- 「第1回地方創生SDGs金融表彰受賞」
・内閣府が新設した表彰制度において、全国で唯一2事例が表彰されました。（全国：5事例）
・連携自治体：鳥取県・日南町



【金融商品・サービス関連】

- SDGs私募債取扱開始（2020年10月）※ラインナップ追加
- SDGs簡易診断ツール（無償）の導入（2021年6月）
ごうぎんSDGs経営応援サービス（有償）開始（2021年10月）
・取引先のSDGs経営状況を診断し、宣言書作成を支援します。
- サステナビリティ・リンク・ローン（SLL）取扱開始（2021年10月）
・外部評価型に加え、2022年2月からは取組目標を「温室効果ガスの排出削減」に限定した自行評価型のSLLの取り扱いを開始しました。
- CO2排出量の見える化・排出量削減等支援開始（2022年3月）
・取引先の脱炭素経営へ向けた具体的な対策を提案します。
- J-クレジット仲介支援実績（2022年3月末時点）
・186件、6,799t-CO2（うち鳥取県内：142件、3,918t-CO2）

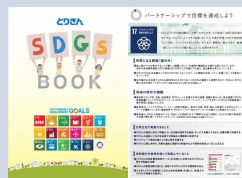
<SDGs達成に向けた今後の活動>

- SDGs経営に向けた事業者等へのアドバイス・コンサルティング
・地域・企業等へ対するSDGsの浸透を支援し、特に企業のSDGs/EGS経営実践へ向けたコンサルティングサービスを強化して参ります。
※2022年5月13日（予定）：当行主催SDGsセミナー（3回目）
- とっとりSDGs企業認証への支援
・認証企業への支援および認証取得へのチャレンジも支援します。

株式会社鳥取銀行

<これまでの活動内容>

- 「鳥取銀行SDGs宣言」公表（令和3年4月）
- 県などと連携し「とっとりSDGsアワード」を実施（令和3年度）
⇒小中高生、大学生ほか若者によるSDGsのアイデア・プランを募集、ファーストステップ5名、セカンドステップ5団体を表彰
- 新聞広告「とっとりSDGsの底力」にて県内企業の取組みを紹介
⇒令和3年度は17回掲載
- 「SDGs対応度簡易診断」取扱開始（令和3年8月）
診断結果をもとにお取引先のSDGsへの取組みを支援
⇒サービス提供先：78先（令和4年3月31日時点）
- SDGs啓発冊子「とりぎんSDGsBOOK」発刊（令和4年2月）
- CO₂排出量見える化サービスの仲介開始（令和4年2月）
お取引先の脱炭素に向けた取組みを支援
- 「SDGsを学ぶ」セミナーを鳥取市と共催（令和4年3月）
⇒県内企業から43団体が参加
- 鳥取県、山陰合同銀行と協働したSDGsの取組みについて「第1回地方創生SDGs金融表彰」を受賞（令和4年3月）
- 寄付型私募債取組実績（令和4年3月31日時点）
私募債発行額に応じて地域のSDGs関連活動に寄付
⇒発行92先、発行総額81億円、寄付総額16百万円
- 県内のJ-クレジット仲介支援実績（令和4年3月31日時点）
29件、507t



<SDGs達成に向けた今後の活動>

- お取引先の経営支援を通じたSDGsの取組みの後押し
 - ・ とっとりSDGs企業認証制度の認証取得支援
 - ・ 私募債優遇要件の拡充（県SDGs認証、再エネ100宣言）
- サステナビリティ委員会の設置（令和4年4月）
- 行内外へのSDGs啓発活動の継続

リコージャパン株式会社 鳥取支社

<これまでの活動内容>

- 弊社鳥取事業所移転（R元年）に伴い、太陽光パネル、蓄電池、EVカー等を導入し脱炭素社会へ貢献。事業所階段にSDGsステッカーの掲示や個人ロッカーへSDGsマグネットシートを添付しSDGs個人宣言を実施。
- 新型コロナウイルス感染拡大を受けて、県内の第一種感染症指定医療機関へフェイスシールドを寄贈（持続可能な社会へ貢献）。
- 社外向けSDGs勉強会を開催。
- 「とっとりSDGs伝道師」に任命され、5社に対し勉強会を実施。
- 倉吉市様より今年開催予定の「日本女性会議」のイベントでジェンダー平等に焦点を当てたセミナーとワークショップを実施。（R3年11月）
- 智頭町様地方創生推進委員会に参画。
- R3年9月 第1回倉吉市SDGsワーキンググループ会議にアドバイザーとして参画し、第4回会議まで出席し、SDGs推進について検討会を実施。
- 事業活動を通じた 複合機販売に伴うマングローブ植林によるCO₂削減。（R3/4～R3/12 208本植林 2590kg年間CO₂削減）
- スクラムパッケージ（ソフト）販売に伴いお客様の業務省力化に貢献。（年間 223,560時間削減）
- 因幡街道交流会議様主催の観光庁支援事業で小学生向けカードゲーム実施。（地域の生業にあるSDGsのヒントを探る）




<SDGs達成に向けた今後の活動>

- 引き続き事業活動（啓蒙・実践・販売・取組可視化）から持続可能な「経済」「社会」「環境」に貢献いたします。
- SDGs伝道師としての普及活動の促進をいたします。

鳥取県生活協同組合

<これまでの活動内容>

- 鳥取県生協の「コープSDGs」7つの宣言をもとに地域や組合員とともに進めています。
- **持続可能な生産と消費のために商品とくらしのあり方の見直し**
「夏のエシカルチャレンジ」に取り組み、親子で環境を考える場づくりの提供。
- **地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーの利用・普及**
再エネ・省エネの推進を行うとともに、事業資源の最適化を検討。
- **世界中から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動の推進**
当組合の予備食品を活用した「フードサポート」では、県内の地域・子ども食堂、生活困窮者自立支援を継続。鳥取県と連携した「フードドライブ」では、寄付食品（2118kg）を集める。
県内全ての市町村と赤ちゃんが生まれたご家庭へのお役立ちを継続。

フードドライブ
- **核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動の推進**
オンラインを活用した学習会、ヒバクシャ国際署名では4880筆を集める。
- **ジェンダー平等と多様な人々が共生できる社会づくりの推進**
組織内で感謝を伝え合う「グリーンカード」の継続。
- **誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりへの参加**
「コープ虹の森（鳥取県の「とっとり共生の森事業」に参画した取り組み）」では、森林保全、育林活動を継続。
- **健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動の推進**
くらしのお手伝いを通じて、組合員同士が助け合って暮らせる地域づくりを目指し「くらし助け合いの会（有償ボランティア）」の継続。

<SDGs達成に向けた今後の活動>

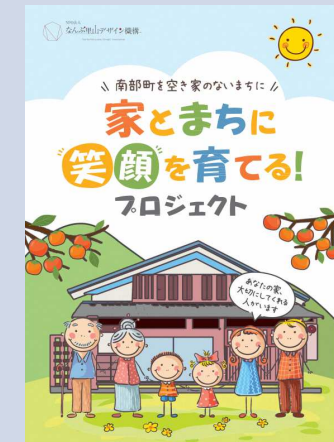
- 「つくる責任・つかう責任」を考えて行動し、世界の問題を解決するために「パートナーシップ」を大切に取り組んでいきます。
- 社会とのつながりを意識し、エシカルな選択を心がけることで持続可能な社会づくりに参加します。



特定非営利活動法人 なんぶ里山デザイン機構

<これまでの活動内容>

- 当機構は、「なんぶ創生総合戦略」の実現に向けた住民主体の組織として2016年に設立し、恵まれた里山の魅力を広く発信すると同時に「交流人口の増加」や「生涯活躍のまちづくり」に取り組んでいる。
- 空き家を活用した移住定住の促進として、空き家を地域資源としてとらえ、リフォームをして移住者向けの居住場所として活用することで、集落の活性化に繋げている。⇒令和3年度3軒リフォーム実施
- 「なんぶ里山デザイン大学」(市民カレッジ)を開催し、南部町の豊かな「里地里山」をフィールドに、暮らし講座や子育て講座等を開催し、交流人口の増加を図っている。
⇒令和3年度8講座開催91人参加



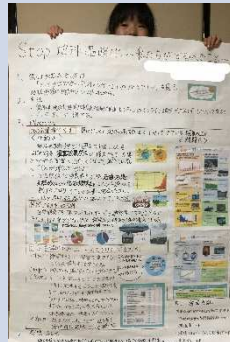
<SDGs達成に向けた今後の活動>

- 引き続き、空き家を活用した移住定住の取り組みを進めるとともに地域・まち全体の活性化を図っていく。
- 里地里山を活かした各種講座を(オンラインを含めて企画)開催し、関係人口の拡大と併せて豊かな自然環境を守る取り組みを発信していく。

特定非営利活動法人 E C Oフューチャーとっとり

<活動報告>

- 「断熱ワーク動画」配信
- 鳥取県「ゼロカーボンシティ宣言」の具体的施策「健康省エネ住宅基準づくり」NE-ST委員
- 「気候menuプロジェクト」
- 「テレワーク推進セミナー」
- 「オンライン子ども自然エネルギー研究所」



○「2050年とっとりゼロカーボン」
県内各界で活躍する委員で2050年ゼロカーボン社会について気候対策や先進事例などを専門家から学び、2050年の鳥取県を作成したイラストを共有するバックキャストな場づくりを実施。



<SDGs達成に向けた今後の活動>

- 2030年のまちをイメージした絵画を作成する小学生対象の学習プログラムを実施。(2050年とっとりゼロカーボンイラスト活用)
- ウェブサイトやSDGs視点で編集
- 【エコ端会議の開催】TCCCA（鳥取県地球温暖化防止活動推進センター）×SDGsプロジェクトとして月に一回オンライン開催。各月SDGsの各目標と脱炭素・気候問題との関係についてゲストと学び合う行動へのきっかけづくり等



とっとり県消費者の会

<これまでの活動内容>

- 団体設立以来、環境問題に率先して取り組み、地域住民に広く参加を呼びかけ、県中部における地域のごみ減量・リサイクルの普及啓発を実施。
- 消費者支援活動として、事業者との協働による勉強会の開催や、企業・工場視察の企画など、事業者連携も積極的に展開。
⇒令和3年7月29日にJA鳥取中央と連携して生産者と消費者の交流会を実施し、ワークショップを通じて食品ロスなどのSDGsについての知識を深めるイベントを開催。

<その他の活動実績>

【勉強会】

- ・R1エシカル消費講演会 講師 原田さとみ氏
- ・R2「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ講演会 講師 古川義秀氏

【企業・工場視察】

- ・H29家電リサイクル工場 視察 パナソニック
- ・H30バイオマス発電所 視察 松江市



<SDGs達成に向けた今後の活動>

- これまで行ってきた活動を、SDGsの理念に結びつけるとともに、引き続き実践に繋がる活動を行っていく。
- 「SDGs」について、高齢者などにもわかりやすい学習会を開催するなど、SDGsの普及啓発と、会内外の実践の働きかけを行う。
- <今後の勉強会予定>
 - ・「フードロス削減とエシカル消費について」（鳥取生活協同組合）
 - ・SDGs伝道師 小松亜希恵先生によるワークショップの開催
 - ・「身近な環境問題とSDGsについて」（県環境立県推進課）

特定非営利活動法人 鳥取県障害者就労事業振興センター

<Vision>

* 障がいのある人たちが地域で共に生き、働き、『夢』をもって暮らせる地域社会を目指します。

<主な活動>

* 障がい者の就労促進、収入向上にむけ、地域の企業、自治体等と連携した取組をしてSDGsの理念に沿った事業を展開

○障害福祉サービス事業所商品販路拡大

- ・企業×福祉 コラボ商品開発、合同商談会の実施
- ・地域×福祉 oluolu縁ま〜との開催

○障害福祉サービス事業所受注拡大

- ・農業×福祉 農作業マッチング、農産加工品製造、マルシェの開催
- ・企業×福祉 共同受発注窓口、ワークコーポととり運営

○地域連携ネットワーク

- ・「地域課題を福祉との連携（障がい者の就労）で解決し、地域を元気に！！」をコンセプトに定期的な意見交換会を実施
- ・地域ネットワークワークショップの開催



<SDGs達成に向けた今後の活動>

○地域連携ネットワークの形成：障がい者の就労と地域連携ネットワークをSDGsの視点で促進する。

- ・福祉事業所の情報発信
- ・地域ネットワーク会議の開催
- ・農福連携×SDGsセミナーの開催

○障がいのある方の就労促進

- ・地域、企業等との連携
- ・マルシェ等販売会の実施



虹の会（不登校や障がい、ひきこもりの親の会）

<活動内容>

○平成27年12月～

不登校・ひきこもり傾向にある当事者、その保護者、支援者が集まり、理解啓発及び福祉推進の為、また保護者同士の情報交換や講演・研修会等を行う事を目的として活動を開始。



○これまでの実績

- ・毎月の定例会 第2水曜夜
- ・行政との意見交換会
- ・イベント「不登校は不幸じゃない！」開催
- ・映画「不登校のススメ」上映会 & 監督、出演者のお話会
- ・多様性に特化した通信制高校等の学校説明会 & 相談会
- ・鳥取県不登校の親の会ネットワークでの活動
- 「子どもの学びと不登校を考える鳥取県民の集い」開催
- 「令和2年度いじめ・不登校対策連絡協議会」出席



<SDGs達成に向けた今後の活動>

- ・毎月の定例会 第2水曜日19時半～
- ピアカウンセリング（同じ悩みを持つ仲間同士の支え合い）。経験者、当事者の話を聞く。学びの場や相談先の情報共有。
- ・講演会や研修会の開催。 ・学校や行政、地域への理解啓発。
- ・学びについての情報収集と発信。 ・行政や福祉との関係構築。
- ・フリースクール授業料の全家庭、全額免除に向けての活動。
- ・新たな学びの場を増やす活動。
- ・**R3.3～保護者のピアサポートの会（発達障害の親の会）とタッグを組み、『NPO法人ピアサポートつむぎ』を設立。休眠預金の助成金を活用し、拠点と居場所を作り、活動の幅を広げていきます！**



不登校やひきこもりは問題行動ではありません。怠けている訳でもありません。

例え、学校に行けなくても、外に出られなくても…

どんなあなたでも、どんな私でも、大丈夫！

お互いの違いを認め、生き辛さを理解し、尊重し合える世の中にしていきたい！

社会福祉法人こうほうえん

<これまでの活動内容>

○地域支援活動を専門的に行う地域総合支援室を開設（平成26年4月）。法律制度にかかわりなく、総合的な相談対応や就労・学習などの総合支援に関する事業を幅広く展開。

<支援事例>

- ・就労支援／就労安定を目指した事業所へのマッチング、事業所内業務の開拓等の支援
 - ・学習支援／格差是正を目的とした学習機会の提供等
 - ・触法者支援／犯罪前歴等のため、就職が容易でない方を雇用し、改善更生に導く「協力雇用主」に登録
 - ・犯罪被害者支援／本人保護並びに社会生活の確立
 - ・居住支援／住まい確保や緊急対応など支援(県指定法人)
- ⇒ SDGsの「誰一人取り残さない」の理念に繋がる取組

<SDGs達成に向けた今後の活動>

○自治会活動の維持が課題となっているエリアのコミュニティ活性化の方策として、県営永江団地（米子市永江）をモデルとして、公営住宅の空き住戸を利用し、団地に居住する高齢者の生活支援（見守り、生活相談、緊急通報の受信）の取組を開始。
※その他、空き住戸は「学生向けシェアハウス」や「小学生向け学習支援（+食事提供）」としても活用し、幅広い年代が関わるコミュニティの形成を図る。
⇒高齢化が進むコミュニティの維持（持続可能なコミュニティ）の形成に向けたモデル事業として実施。



調印式の様子



県営住宅永江団地

Tottori Mama's

<これまでの活動内容>

- 普及、啓発のため、鳥取県が作成したSDGs関連のパネル等を日本財団まちなか拠点（Tottori Mama's 拠点）にて展示。
- エコ料理（保温調理）、断熱エコDIYをの動画を制作し、YouTube、SNSで紹介
- 育休、子育て中の女性同士の意見交換やリフレッシュできる企画を定期的に設け、育児中の女性をサポート。（誰もが孤立することなく子育てをする環境をつくる）
- 子育てに関するアンケート調査を実施し、回答をSNSで共有。
 - ・女性のリアルな声を発しやすい環境づくり
 - ・暮らしやすい地域を自ら考える機会
- 自給自足・地産地消を広めるため「農業×子育て」の取組を実施
 - ・鳥取大学農業サークル「旬むすび」コラボ企画《こども農業体験》
 - ・自然農法MOAコラボ企画《親子で田植え・稲刈り体験》
- 【TOTTORI/ハイレーズ】開催
 - ・地元企業と連携した子育てを応援、見守る環境づくり。気軽に頼れる人（企業）がいることで、安心して暮らせる社会へ繋がる。
- 子育て中の女性を社会と繋がる場をつくる
 - ・アシスタント、サポーター制度



<SDGs達成に向けた今後の活動>



○子育て世代に、従来の取組をSDGsと関連付けて身近に感じられるような発信を継続し、子どもたちが暮らす未来を想像し理想を共有しあい、未来が安心して暮らせる環境を残す行動へ移す

<活動報告>

- 日本海新聞環境キャンペーンと銘打った年間企画で「持続可能な社会」で企業・団体の取り組みを大きくピックアップ→継続中
- N I E 活動推進の一環で、子どもたちにSDGsについて理解してもらうため、分かりやすい特集紙面を掲載→継続中
- 行政・企業・団体の取り組みを幅広く紙面で紹介
- 講演会の開催など

≪最近の主な紙面≫

■ 未来へつなぐ八頭 (3/26)
■ 若桜町 (3/24)
■ アンブレラスカイ (3/2)
■ とっとりSDGsアワード決まる (1/31)
■ 地域経済面で企業団体紹介
■ 内閣府の表彰 (3/15)
■ 見聞き対談特集 (12/24)

<SDGs達成に向けた今後の活動>

- 鳥取県の地元紙としてSDGsに取り組む意義、率先して取り組む企業・団体等を紙面で紹介して啓発・広報などを展開。講演会も引き続き開催へ

<活動報告>

- 鳥取大学憲章において、「様々な価値観が交錯するグローバル時代を迎えて、多様な文化や考え方があることを理解し、少数者や厳しい条件下におかれている人々に対する思いやりの心もち、社会に対する責任を果たすことを行動の規範とする」とし、「知と実践の融合」の基本理念のもと、地域から国際社会まで広く社会に貢献することを目指していくとしており、全学においてSDGsの達成に向けて幅広く取り組んでいる。
- 令和3年2月18日に学長をトップとする「鳥取大学SDGs 推進会議」を立ち上げ、全学体制を整備。
- 今後10年の方針を示した「鳥取大学ビジョン2030(2021年7月27日制定)」のなかで、SDGsに向けた教育、研究を行うことを記載。
- 多くの方々と課題や目標を共有し、大学が先頭に立ってSDGsのゴールに向けて一緒に取り組んでいけるよう、鳥取大学の教育・研究活動におけるSDGs活動について、実績をとりまとめてHPに掲載。(2019年)
- 広報誌「風紋」66号に「鳥大SDGs特集 大学の教育・研究を世界の課題解決へ」と題し特集を組み、大学の取り組み事例等を掲載。(2020年)
- ダイキン工業株式会社と包括連携協定を締結し、乾燥地における空調ソリューションの研究、菌類きこ資源を利用した香りやストレス軽減効果の検証などのヘルスケア分野の研究、また、大学及び企業との人材交流を行い世界の乾燥地に関するテーマを解決できる人材の育成などを進めていく。(2021年)
- 米子ガス株式会社と包括的な産学連携を通じ、SDGsの達成への取り組みを視野に入れ、地域社会の持続可能な発展に資する研究・技術開発テーマ創出や人材育成に関することを連携し、協力していくことで協定を締結。(2021年)
- 鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室の学生スタッフが、「生理の問題」について学生へアンケート調査を行い、大学に取り組んでもらいたいことを取りまとめ提言(2021年)
- SDGs取組事例集(第2版)を作成し、SDGs達成に向けて取り組んでいる様々な教育・研究活動の可視化。(2021年)

<SDGs達成に向けた今後の活動>

- 学内の連携強化並びに地域社会及び国際社会とのパートナーシップ構築の推進。
- SDGs取組事例集を改訂し、随時最新情報を発信。



公立大学法人公立鳥取環境大学

<活動報告>

- SDGs達成貢献のために「SDGs取組宣言」表明。(2018年)
- 授業内容の充実のためにシラバス(講義要項)にSDGs17の目標との関連表を掲載。(2019~2022年)
- 学内特別研究費、書籍出版助成等でSDGs関係の研究活動を支援。その成果を地域還元するため研究成果報告会を開催。(2019~2022年)
- SDGsに関わる意見交換の場として「SDGs地域塾」「SDGsカフェ」を開催。(2019~2022年)
- EMSにおける各実行組織の環境目標にSDGsに関する目標を設定し、SDGsを日常業務の中で推進。(2019~2022年)
- SDGs推進機能を集約した「サステナビリティ研究所」による、より組織的・発展的なSDGsの推進。(2020年~2022年)
- 学生がSDGsを知り、SDGsの達成に向けた取り組みを多角的に考えられるように人間形成科目「SDGs基礎」を開講。(2020~2022年)
- 鳥取商工会議所工業部会と教員・学生が連携し、企業の環境分野等の課題解決を行う「SDGs連携事業」を実施し事業報告会を開催。(2020~2022年)
- 「SDGs取組宣言」の理念にある「持続可能な社会」を実現するため、本学の有する教育リソースをオンラインで視聴可能な動画コンテンツ「SDGsオンライン講座」として提供。(2022年)



<SDGs達成に向けた今後の活動>

- SDGs活動推進助成制度を新設し、SDGs活動を通して、持続可能な社会の実現を目指す意欲ある学生を支援。
- 「SDGs連携事業」を継続し、新たな企業の課題解決を行うことによりSDGsの取り組みを推進。
- 「SDGsオンライン講座」の動画コンテンツを拡充。



日南町

<これまでの活動内容>

- 日南町では、令和元年度「自治体SDGs未来都市」として選定する国の公募に対して、人口減少や高齢化などの地域課題解決を図り、持続可能なまちづくりを目指す提案を行い、政府による「自治体SDGs未来都市」として選定された。
- これまでも日南町では、コンパクトヴィレッジ構想や水源涵養を育む森林育成活動など、『持続可能なまちづくり』に向けた取り組みを行ってきたが、このたびの「自治体SDGs未来都市」選定を機に、より一層の取り組みを展開していく。

SDGs×日南町  これまでの主な取り組み

- 全国初！CO2排出ゼロの道の駅にちなみ日野川の郷 
- 緩やかな人口減少を実現するコンパクトヴィレッジ構想 
- FSC森林認証取得で、責任ある森林管理で持続可能な森林経営を 
- 町有林「ク」クレジット制度運用で水源涵養と森林育成を 
- 企業のCSR活動の誘致による森林育成活動の実施 
- SDGs環境フォーラム、各種学習会等の開催による啓発 
- SDGsにちなみアンブレラスカイ 

SDGs未来都市×日南町 

<SDGs達成に向けた今後の活動>

- 第6次日南町総合計画(R2.4~R12.3)による全町的なSDGsの取組推進
- 第2期『まち・ひと・しごと創生日南町総合戦略』によるSDGsの取組推進
- 日本一濃密な森林教育を目指す！日南町の一貫的な森林教育プログラムの構築
- 「林業従事者の確保」と「森林意識の継承」
- ソフトバンク、鳥取大学との連携による中山間地域の課題解決及びSDGsの取組推進

とっとりSDGs若者ネットワーク

- 持続可能な社会の担い手となる県内の若者(高校生、大学生、社会人など)が集まり、「とっとりSDGs若者ネットワーク」が令和2年8月に発足。
- 2030年やその後の地域社会についてSDGsの視点から考え、取り組むテーマを設けて活動。

R3年度の主な活動

※R3メンバー:24名

個人向けSDGsアプリの開発・普及

…R2年度に開発した自らのSDGs取組度をチャートで「見える化」するアプリケーション“My SDGs”の個人向けを開発。

幅広い世代向けのSDGs普及ツール開発、発信

…こども向けSDGs絵本の開発や、インターネット上での情報発信を企画。R4年度の完成に向けて制作中。

SDGs体験型イベントの実施

…SDGsからテーマを設定し、豊かな自然を活かした体験型イベントを企画(海・海岸でのワークショップなど)。
※コロナで開催できなかつたため、R4年度に開催予定



R2年度の主な活動

※R2メンバー:14名

企業向けSDGsアプリの開発・普及

…県内企業向けに具体的な行動を起こす契機としてもらうため、自らのSDGs取組度をチャートで「見える化」するアプリケーション“My SDGs”を開発。

SDGsカードゲームの開発、普及啓発の実施

…こどもから大人まで、楽しみながらSDGsの視点で課題と対応を考えるカードゲームを、鳥取県ユニセフ協会学生部と共同開発。各所で学習会を実施。



鳥取市



SDGs未来都市
鳥取県鳥取市

サステナビリティ×イノベーションで「農村から真の持続可能なまち」を実現する



- 2021年、鳥取市は「SDGs未来都市」に選定されました。
- 環境保全と経済活性化が両立した、「食」と「エネルギー」の地産地消を達成する、人と人が繋がった農村モデルの構築を進めています。

▼関連するゴール

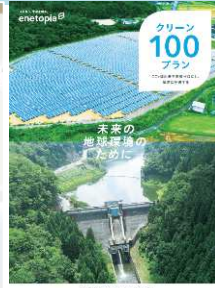


▼多様なステークホルダー



環境

『エネルギーの地産地消』と『微生物発電』実証事業』の推進



- 官民連携型の「**エネルギーの地産地消**」を推進
- 地域内で持続可能な再生可能エネルギーの開発と供給を進めている
- **再エネによる地域への電力供給率100%**を目指す

- 地元企業の技術による『**太陽光パネルのリサイクル材**』を活用した『**微生物発電**』の実用化に向けた取組を推進
- 理論上、**田んぼ1反に対し10世帯分の電力**を確保できる可能性が見えたため、行政も本事業を積極的に支援



経済

再生資源の農業への活用



- 再生可能エネルギーを活用した、**エコなスマート農業経営モデルの構築**を進める。
- ICTやデータ分析を活用することで、次世代を担う若者の就農意欲を高める。

社会

ワーケーションの推進




特別体験プログラム(交流・内省・発見)

- 本市の取組を全国的に知っていただくための**ワーケーションプログラムを企画・実施**する。
- 都市部と地方の双方の企業が連携して、本市の取組の全国的な普及を進めていく。

サステナビリティ×イノベーションで「農村から真の持続可能なまち」を実現する

自治体名：鳥取県鳥取市

1.地域の特徴と課題及び目標	鳥取砂丘、山陰海岸ジオパークや天然温泉など、豊かな自然と観光資源に恵まれ、数多くの農林水産資源の食材が生み出されている。人口減少と少子高齢化の急速な進展による人手不足、後継者の確保など、持続可能な仕組みづくりが課題となっている。地域の特性を活かした再エネ資源を発掘し、地域経済の好循環を生み出すとともに、魅力ある次世代農業を展開して、人と人が繋がる地域共生社会の実現に取り組んでいくことが必要である。	2.関連するゴール	
3.取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)	人口減少が進む地方都市において、「環境保全」と「経済活性化」が両立した、持続可能な地域を創出するため、「食」と「エネルギー」の地産地消を達成する、人と人が繋がった農村モデルの構築を進める。産学官が十分に連携して、サステナビリティとイノベーションを組み合わせることで、持続可能な真の農村モデルとして、本取り組みを広く普及させていくことを目標とする。		
4.自治体SDGs推進等に向けた取組		6.取組成果	
<p>【環境】 化石由来のエネルギーから、再生可能エネルギーへの電源切替普及活動を進めていく。 あわせて、新たな電力供給モデルとして、太陽光発電パネルのリサイクルによって生み出されるガラス発泡材を活用した「微生物発電」の実証実験を進める。</p> <p>【経済】 上記環境面の取組を活用した次世代農業の育成を進める。温泉熱を活用した農業経営や、再エネ100%電力を活用したスマート農業など、まずはモデル的に手掛け、高い効果が得られるかどうか、ビジネスとして継続できるかなどを検証する。</p> <p>【社会】 上記環境面と経済面を掛け合わせて地域振興を進める本市独自の取組を「とっとりモデル」として、県外の方が体験して学ぶことができるラーニングワーケーションプログラムを創出する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学生を対象としたワークショップを実施した（38人が参加）。 ・市内企業を対象とした「SDGs経営実践のためのセミナー」を実施した（44団体49名が参加）。 ・本市の取組を周知するための特設サイト及び動画を制作した。 ・市内外のこども（小学～大学）に、本市の取り組みについての説明を行った。 ・都市圏企業とのオンラインマッチングイベントへ参加し、誘致や参画交渉を行った（延べ24社）。 ・鳥取市鹿野地域における持続可能なまちづくりを舞台としたラーニングワーケーションプログラムの企画及び制作を行った。 	
5.取組推進の工夫		7.今後の展開策	
<ul style="list-style-type: none"> ・担当課内にSDGs未来都市推進事務員を配置し、本市の取り組みの情報発信を行った。 ・庁内関係課で組織する「SDGs未来都市実践プロジェクトチーム」を立ち上げ、情報共有できる体制を構築した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・特設サイトを通じた、より積極的な情報発信を行っていく。 ・SDGs未来都市のロゴマークの公募や、セミナーやイベント等を開催して、本市の取り組みに関わってくれる人を増やしていく。 ・関係人口の創出・拡大に向けたワーケーションを進めていく。 ・鳥取市鹿野地域を舞台にした「ラーニングワーケーション」ツアーを実施する。 ・微生物発電の実用化に向けた、積極的な支援を進めていく。 	
8.他地域への展開状況 (普及効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の「食」と「エネルギー」の地産地消に向けた取り組みは、広大な自然環境や農地などを活用したいと思う人材が協力してできあがるものであるが、本市以外の地域も同様の環境を有しているであろうことから、他地域への普及展開は十分に可能である。 ・本市のスマート農業の事例は多数の方の関心をいただいております、多くの視察を受け入れている。 		

資料5

その他報告

鳥取県SDGsローカル指標①

ゴール	鳥取県SDGs ローカル指標	実績値		傾向	(参考)鳥取県の各種計画等の目標値
		準最新値	最新値		
1 貧困をなくそう	相対的貧困率	13.6% (H25)	11.9% (H30)	➡	
	新規就農者数	139名 (R元)	158名 (R2)	➡	鳥取県農業生産1千億円達成プラン 令和7年(2025年) 新規就農者 200人/年
2 飢餓をゼロに	農業産出額	743億円 (H30)	761億円 (R元)	➡	鳥取県農業生産1千億円達成プラン 令和12年(2030年) 農業産出額1,000億円
	食料自給率(カロリーベース)	62% (H30)	61% (R元)	➡	
	運動習慣者の割合	男性 30.8% (H24) 女性 27.6% (H24)	男性 26% (H28) 女性 21.3% (H28)	➡	健康づくり・文化創造プラン 令和5年(2023年)年目標値:30%以上 日常生活における1日の歩数を男性8,000歩以上、女性7,000歩以上を目標とする。
3 すべての人に健康と福祉を	健康寿命	男性 71.69歳 (H28) 女性 74.14歳 (H28)	男性 71.58歳 (R元) 女性 74.74歳 (R元)	➡	健康づくり・文化創造プラン 令和5年(2023年)度までに健康寿命・平均寿命ともに全国10位以内を目指す。
	3大疾病(心血管疾患、癌、脳疾患)による死亡率	50% (H29)	49% (H元)	➡	
	質の高い教育をみんなに	県内における社会教育講座受講割合 (行政関与講座ベース)	12.30% (H26)	17.70% (H29)	➡
5 ジェンダー平等を実現しよう	管理的地位に占める女性割合(従業員10人以上)	25.4% (R元)	26.4% (R2)	➡	第2次鳥取県女性活躍推進計画 令和7年(2025年)度までに30%以上
	男女間賃金比較(男性を100として指数化)	77.2 (R元)	78.5 (R2)	➡	
6 安全な水とトイレを世界中に	生活排水処理人口普及率	94.8% (R元)	95.0% (R2)	➡	鳥取県生活排水処理施設整備構想 令和8年(2026)年度 整備目標97.6%
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	需要電力における再生可能エネルギー割合	38.7% (R元)	39.2% (R2)	➡	令和新时代とっとり環境イニシアティブプラン ※改訂予定 令和12年(2030年)度目標 60%
	人口あたりの電力エネルギー消費量	6.54kWh (H30)	6.42kWh (R元)	➡	

鳥取県SDGsローカル指標②

ゴール	鳥取県SDGs ローカル指標	実績値		傾向	(参考)鳥取県の各種計画等の目標値
		準最新値	最新値		
 働きがいも経済成長も	人口あたりの県内総生産(GDP)	3.33百万円 (H30)	3.36百万円 (R元)	→	鳥取県産業振興未来ビジョン 県内総生産1兆9千億円(令和6年(2024年)) ※人口あたりの県内総生産(GDP)の目標値設定は無し。 (参考)平成30年(2018年)県内総生産:1兆8,679億円(最新値)
	年次有給休暇の平均取得率	45.2% (H27)	54.4% (R2)	→	鳥取県令和新时代創生戦略 県内中小企業の年次有給休暇取得率 70%(令和6年(2024年))
 産業と技術革新の基盤をつくろう	県内総生産あたりの研究開発費	0.09% (H29)	0.10% (H30)	→	
	県内高速道路ネットワーク供用率	80.2% (R元)	80.2% (R2)	→	鳥取県道路整備プログラム 令和9年(2027年)度までに山陰道(北条道路)、山陰近畿自動車道などを整備 ※高速道路ネットワーク供用率に関する目標値設定は無し。
 人や国の不平等をなくそう	障がい者雇用率	2.37% (R2)	2.43% (R3)	→	鳥取県障がい者プラン 民間企業の障がい者雇用率 令和5年(2023年)度法定雇用率達成(2.3%)
	あいさポーター数 (県内累計人数)	鳥取県 77,536人 (R2)	鳥取県 79,320人 (R3)	→	(参考数値) 鳥取県障害者プラン 令和5年(2023年)度目標575,000人(全国/県内含む)
	ジニ係数	0.30 (H21)	0.29 (H26)	→	
 住み続けられるまちづくりを	可住地面積あたりの公園面積 (都市公園面積/可住地面積)	0.20% (H29)	0.21% (H30)	→	
	自主防災組織活動カバー率 (自主防災組織にある地域の世帯数/県内総世帯数)	92.3% (R2)	92.7% (R3)	→	
 つくる責任 つかう責任	1人1日あたりのごみ排出量	1,031g (R元)	995g (R2)	→	令和新时代とっとり環境イニシアティブプラン 令和12年(2023年)度目標 895g/日・人
	ごみのリサイクル率	(一廃)29.6% (H30)	(一廃)29.2% (R元)	→	令和新时代とっとり環境イニシアティブプラン ※改訂予定 一般廃棄物のリサイクル率 令和12年(2030年)度目標 35%
 気候変動に具体的な対策を	温室効果ガス総排出量(CO2換算)	4,050千t (H30)	3,856千t (R元)	→	令和新时代とっとり環境イニシアティブプラン 令和12年(2030年)度目標 1,870千トン(2013年比60%減)
	産廃)74.4% (H30)	(産廃)76.5% (R元)	→	鳥取県廃棄物処理計画(第9次) 産業廃棄物のリサイクル率 令和5年(2023年)度目標77%	
 海の豊かさを守ろう	養殖収穫量	1,788t (H30)	1,535t (R元)	→	鳥取県令和新时代創生戦略 令和6年(2024年)度末 4193.2t
 陸の豊かさを守ろう	森林施業面積(造林、間伐)	3,572ha (H30)	3,165ha (R元)	→	
 平和と公正をすべての人に	人口あたりの刑法犯認知件数(人口1万人あたり)	36.5件 (R元)	32.8件 (R2)	→	鳥取県犯罪のないまちづくり推進計画 令和2年(2020年)度~4(2022年)年度 刑法犯認知件数2,000件以下の定着

とっとりSDGs自治体ネットワーク

- 県内自治体間でSDGsへの取組に関する情報共有や連携・協働を進め、SDGsの推進を原動力として持続可能な地域社会の実現につなげていくため、県及び県内全市町村の参画のもと「とっとりSDGs自治体ネットワーク」を設立。**【参考(県内のSDGs未来都市): 智頭町・日南町・鳥取市】**
- 鳥取県ならではのパートナーシップを活かした普及啓発や地域に焦点を当てたSDGs教材の開発などに取り組み、SDGsへの取組を加速。



R3.7.21 第1回会議の開催

県東部自治体が連携したSDGs教材開発

千代川流域や周辺地域の課題解決、SDGsを軸とした人材育成を目指し、SDGs教材の開発に取り組むワーキングチームを発足。(R3.9～)



SDGs普及啓発リレー(R3.11～12)

全県を挙げたSDGs普及啓発・実践強化期間である「とっとりSDGsシーズン」に連動して、県内自治体連携によるSDGs普及啓発リレーを実施。

- 公共施設での展示や域内団体等との連携による啓発を集中的に実施！



南部町・天萬図書館



日南町庁舎

とっとりSDGsパートナー制度

- 県内のSDGs活動に取り組む個人・企業・団体に、鳥取県とともにSDGsを推進するパートナーとして登録いただく制度。(R2.9～)
- 「とっとりSDGsパートナー」登録者の取組を後押しするため、様々な機会を捉えたパートナーの取組の情報発信や、パートナー間の交流機会を創出。SDGsの取組を「見える化」し、SDGsの認知度向上や取組の輪の拡大につなげていく。



★パートナーになると…

★SDGsへの取組主体として、**企業イメージの向上**につながります！

- ・鳥取県発行のパートナー証をお渡しします。
- ・パートナーの皆さまによるSDGsの活動を情報発信させていただきます。

★SDGsを通じて新たなネットワークを構築できます！

- ・課題を持つパートナーと解決策やノウハウを持つパートナーとのマッチングをお手伝いします。

★SDGs活動を後押しします！

- ・メルマガでSDGs情報(セミナー開催情報など)をお届けするなど、皆さまの活動をサポートします。

申込みは簡単！SDGsの達成に向けた活動内容を記載いただくだけ！

R4年7月1日現在で490者が登録！
(企業・団体470者、個人20者)

取組

とっとりSDGsパートナー制度に参加する

関連するSDGsのゴール



33

とっとりSDGs伝道師制度

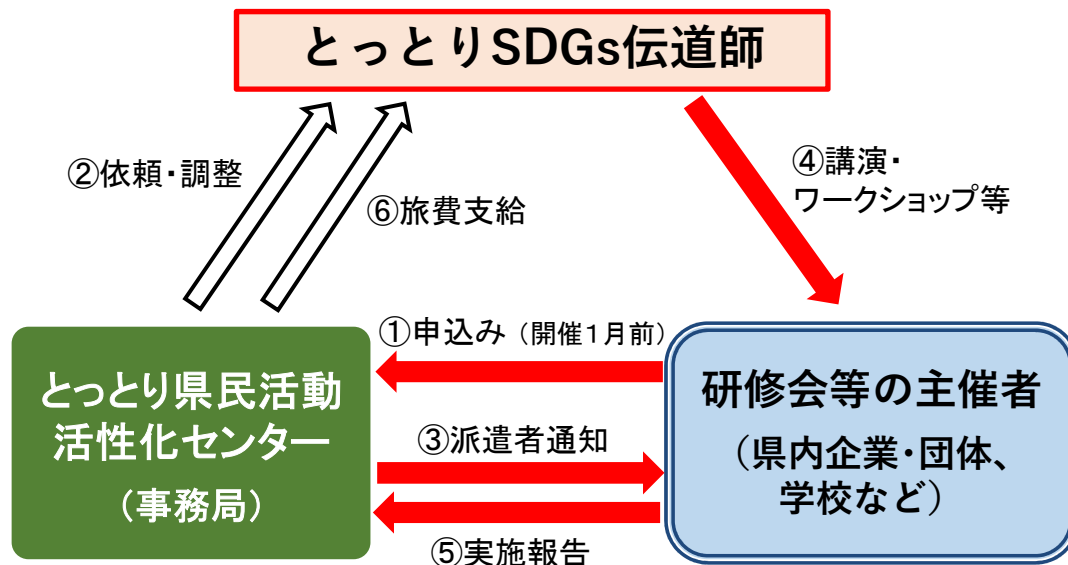
- 「SDGsを学びたい、SDGsの社内研修等を開催したいが誰に頼めばよいか分からない・・・」といった企業や団体からの声を受け、SDGsを分かりやすく説明し、具体的な事例紹介等を行っていただく「とっとりSDGs伝道師」の県内向け講師派遣制度として、令和3年5月に創設。
※運営は、中間支援組織であるとっとり県民活動活性化センターへ業務委託
- 幅広い分野や多様な研修手法の講師を伝道師に任命しており、今後もニーズに応じて拡充予定。

<伝道師の所属団体>

R3年度派遣実績: 23件

(株)山陰合同銀行、流通(株)、鳥取青年会議所
リコージャパン(株)、Tottori Mama's
鳥取県ユニセフ協会、三朝中学校
美保テクノス(株)、大成工業(株)、(学)柳心学園

<講師派遣の流れ>



ポータルサイト「とっとりSDGs」

- 県内のSDGsへの取組を幅広く紹介するプラットフォームとして、「とっとりSDGsポータルサイト」を令和3年8月に開設。
- とっとりSDGsパートナー登録企業・団体や、各種ネットワークの取組紹介をはじめ、SDGsシーズンのオンラインイベントも実施。

とっとりSDGs取組紹介動画
Tottori SDGs Partner Video

すべて見る (Youtubeチャンネル)

検索機能: 地域からさがす、キーワード、この条件で検索

973件ありました

 流通株式会社 瀬戸町、新保町、高倉市	 大成工業株式会社 新保町、米子市	 日ノ丸産業株式会社 鳥取市
---------------------------	-------------------------	----------------------

とっとりSDGsネットワーク

鳥取県らしい持続可能な地域社会を実現するためには、行政、企業、団体、NPOをはじめ多様な主体による連携・協働が不可欠であることから、本県では官民連携組織となる「とっとりSDGsネットワーク」が発足し、連携や個々の活動によりSDGsの認知度向上や実践拡大につなげています。

2021.10.28 令和3年度第1回とっとりSDGsネットワーク会議

とっとりSDGs若者ネットワーク

持続可能な地域社会の担い手となる若者で構成された「とっとりSDGs

TOTTORI SDGs

- SDGsについて
- とっとりSDGsパートナー
- とっとりSDGs伝道師
- 各種ネットワーク等の活動

とっとりSDGsシーズン2021

- イベントカレンダー
- SDGsの取組チェック
- 運営のお知らせ
- リンク集

認証企業の紹介

制度創設に向けて検討中

coming soon!!

とっとりSDGs伝道師

講演会や研修会などでSDGsについてわかりやすく説明し、事例紹介を行う「とっとりSDGs伝道師」について紹介します。

もっと見る

とっとりSDGsパートナーの紹介

鳥取県とともに、SDGsを推進していくことを目的とした「とっとりSDGsパートナー」制度について紹介します。

もっと見る

各種ネットワーク等の活動

多様なステークホルダーによる活動を紹介します。

もっと見る

とっとりSDGs 検索

URL: <https://www.tottori-sdgs.com>



資料6

「とっとりSDGs子ども伝道師」ロゴマークについて

とっとりSDGs子ども伝道師ロゴマークについて

◎「とっとりSDGs子ども伝道師」の創設にあたり、子ども伝道師のシンボル（象徴）となるロゴマークの募集を行いました。

◎ロゴマークを子ども伝道師にとって親しみやすいデザインとするため、応募資格を子ども伝道師の対象と同じ「県内在学または在住の18歳以下の方」としたところ、数多くの応募がありました。

【デザインテーマ】

- ①SDGsへの取組をイメージした親しみやすいデザインのもの
- ②子どもが主役となって、豊かで幸せな未来の鳥取県を作っていくことがイメージできるもの
- ③ポスター、パンフレット、ホームページなどの広範囲に利用可能なもの

【賞】

最優秀作品 1点、優秀作品 2点の応募者に、賞状と副賞を贈呈

【副賞】 最優秀作品 図書カード2万円分
優秀作品 図書カード5千円分

応募総数 48点

➢とっとりSDGsパートナーによる1次審査により最終候補 11点を選定

本日の会議で、

“最優秀作品（1点）”と“優秀作品（2点）”の選定をお願いします。

とっとりSDGs子ども伝道師ロゴマーク最終候補作品(11点)



NO.1



NO.2



NO.3



NO.4



SDGs
NO.5



NO.6



NO.7



TOTTORI SDGs
NO.8



NO.9



NO.10



NO.11